

センター所蔵資料の検索 (OPAC)

新潟大学

大学教育開発研究センター 津田 純子

本学大教センター(以下、センター)が所蔵する資料をデータベース化し、今年度Web上で検索できるようになりました。このような検索システムを持つセンターは、今のところ、本学と広島大学高等教育研究開発センターのみです。

センター資料室には、高等教育に関連する資料、大学教育改革や大学評価などの報告書、大教センターが発行する機関誌など、さまざまな資料が所蔵されていますが、これらは新潟大学附属図書館ホームページの蔵書検索(OPAC)では検索することが不可能です。

これらの資料は、大学教育を改善するためには重要な情報を提供するものです。たとえば、展望をもってFD(大学教員研修会)を企画する場合に、既に実施された事例やその動向を知ることが重要です。これまでは、資料室で直接資料を検索することから手間がかかり、時間のない場合は、具体的な情報を体系的に得ることが困難でした。

本学のセンターは、教育改善と高等教育の調査研究を活動目標としています。センターによる全国調査「大学教育研究センター等の設置状況と課題」(平成14年度研究プロジェクト報告書、参照)の類型では、「改革・支援型」の活動を期待されています。大学教育改革のために調査研究を充実させることは、センターの重要な課題であり、この所蔵資料検索システムは、課題を達成するためには強力なツールとなりうるものです。

いかに強力なツールか、検索機能について簡単に紹介します。大教センターのホームページ目次の「所蔵資料検索」をクリックすると、以下のような【検索画面】になり、そこから所蔵資料の検索が可能となります。例えばFDに関する資料を知りたい場合、キーワード「fd」を入力すると、【FD資料に関する検索結果画面】になり、即座に81件の関連資料を見つけることができます。この画面では、「貸出し中」の表示は見られませんが、貸出し中の場合は本のアイコン上に「貸出し中」と表示されます。

次に、それぞれの資料をクリックすると、詳細な書誌事項を示す画面になり、資料室で現物にあたるための手がかりとなる情報がえられます。貸出し中の手続きも、検索システムでできるようになっています。今回は、センター資料室内の多くの資料の目次をデータベース化しました。このデータベースは、Web上では検索できませんが、電子媒体で検索可能な状態です。

センターは、資料を有効活用できる体制を整えた今、求められる学内シンクタンク的な役割を担っていきたいと考えています。

【検索画面】

The screenshot shows the web interface for the University of Niigata Center for University Education Development Research Center's OPAC. The header includes the university's name and the center's name. The main section is titled '所蔵資料検索' (Collection Search) and features a search bar with a '検索' (Search) button. Below the search bar, there is a section titled '本データベースについて' (About this database) which explains that the database contains various educational materials. To the right of this section is a '検索方法' (Search method) section that provides instructions on how to use the search bar, including examples of keywords and search criteria. At the bottom of the page, there is a '関連リンク' (Related links) section with links to the University of Niigata's library OPAC and the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology's Webcat. The footer contains copyright information, a privacy policy link, and a contact link.

【FDに関する資料の検索結果画面】

新潟大学
大学教育開発研究センター
www.ge.niigata-u.ac.jp

新着情報
沿革・歴史
理念・目標・組織
スタッフ紹介
活動内容
全学FD関係一覧
教養教育(学生部へ)
大学開放
関連リンク
刊行物一覧
所蔵資料検索
アクセスマップ

新潟大学
大学教育開発研究センター
〒950-2181
新潟市五ヶ丘2-2-1(3030番地)
TEL: 025-262-5305
FAX: 025-262-5304

所蔵資料検索

詳細検索

所蔵検索 20件表示

キーワード“fd”で検索の結果81件が返されました。

<< Back
Page: 1 of 5
Next >>

1. 平成13年度 教養基礎教育カリキュラムプランニング特別ワークショップ報告書 / 教養基礎教育調査・研究委員会、FD小委員会; 秋田大学: 国立, 2002
2. 平成13年度 福島大学FDプロジェクト活動報告書 授業改善の追求 / FDプロジェクト; 福島大学: 国立, 2002
3. 平成13年度 弘前大学FD報告書 / 全学教育協議会教育方針検討専門委員会; 弘前大学: 国立, 2002
4. 高等教育研究叢書 諸外国のFD/SDIに関する比較研究 = 12 = / 有本章; 広島大学: 国立, 1991
5. 一橋大学全学FD・第2回教養教育シンポジウム報告書 / 大学教育研究機構; 一橋大学: 国立, 2001
6. 「ファカルティ・ディベロップメント(FD)の推進研究」研究報告書 / 旭川校FD推進研究会; 北海道教育大学: 国立, 2001
7. 教養教育FD研究会報告書 / 大学教育研究開発センター; 茨城大学: 国立, 2001
8. 教養教育FD研修会報告書 / 大学教育研究開発センター; 茨城大学: 国立, 2000
9. 平成12年度 香川大学FD研修会報告書 / FD実施委員会; 香川大学: 国立, 2001
10. 平成12年度 鹿児島大学共通教育FD講演会・ワークショップ報告書 / 共通教育FDワーキンググループ; 鹿児島大学: 国立
11. 平成12年度 鹿児島大学共通教育FD報告書 / 共通教育FDワーキンググループ; 鹿児島大学: 国立, 2001
12. 平成13年度 鹿児島大学FD活動報告書 / ファカルティ・ディベロップメント委員会; 鹿児島大学: 国立, 2002
13. 平成12年度 鹿屋体育大学FD報告書 / FDワーキンググループ; 鹿屋体育大学: 国立, 2001
14. 平成13年度 鹿屋体育大学FDシンポジウム報告書 体育系大学におけるFDの推進の在り方 / ファカルティ・ディベロップメント推進委員会; 鹿屋体育大学: 国立, 2002
15. 平成13年度 鹿屋体育大学FD報告書 / FD推進委員会; 鹿屋体育大学: 国立, 2002
16. 京都大学高等教育叢書 ディベート形式による工学部FDシンポジウム -工業化学科・地球工学科・物理工学科- = 12 = / 高等教育教授システム開発センター; 京都大学: 国立, 2001
17. 京都大学高等教育叢書 大学授業の参加観察プロジェクト報告(1) -大学授業の参加観察からFDへ- = 11 = / 高等教育教授システム開発センター; 京都大学: 国立, 2001
18. 京都大学高等教育叢書 大学授業の参加観察プロジェクト報告(2) -大学授業の参加観察からFDへ- = 14 = / 高等教育教授システム開発センター; 京都大学: 国立, 2002
19. 平成13年度 FD活動報告書 / FD委員会; 京都教育大学: 国立, 2002
20. 芸術工学の教育研究とFaculty Development研究会 / FDワーキンググループ; 九州芸術工科大学: 国立, 2000

<< Back
Page: 1 of 5
Next >>

著作権について
 プライバシーポリシー
 お問い合わせ
 このページの先頭へ